

実践！重症患者の回復を導く循環管理

— 循環動態の見える化と補助循環管理の克服 —

循環動態の安定化は回復へ向かう第一歩です。身体所見×循環生理×モニタリングを総合的に理解し、補助循環を含む循環管理の苦手を克服しましょう。

 オンデマンド配信

 2026年10月1日～11月16日（47日間）

会員¥4,000 / 非会員¥6,000

対象者

- 循環生理の基礎から治療・管理まで体系的に復習したい看護師
- 救急・集中治療の経験が少なく循環管理に苦手意識がある看護師
- 補助循環装置を含む循環管理の困難感を克服したい看護師

受講者へのメッセージ

- 本セミナーは事例を通して、看護の視点で観察ポイントと安全管理の要点を整理し、明日からの看護実践につなげることを目指します。

講義構成 30分 × 6講義（全体 約3時間）

1 循環生理と身体所見に基づく病態アセスメント

— 心機能を左右する4つの因子他の理解 —

4つの因子とNohria-Stevenson分類を軸に、アセスメントの視点を整理します。

永田 明恵（防衛医科大学校）

2 動的パラメータを活用した体液管理

— モニタリングの解釈・治療の評価 —

動的指標を読み解き、体液管理の判断と治療評価につなげます。

福永 拓人（東邦大学医療センター大森病院）

3 心原性ショックの治療と看護

— 事例に基づく病態の理解と方略 —

事例で心原性ショックを理解し、優先すべき観察と対応を押さえます。

小泉 雅子（東京女子医科大学病院）

4 循環器作動薬の特徴と適用

— 強心薬、血管収縮・拡張薬の理解 —

臨床所見とモニタリングから、循環作動薬の特徴と選択を理解し、事例ベースで整理します。

新山 和也（埼玉医科大学国際医療センター）

5 IABP・IMPELLAの管理と看護

— 適応・原理、安全管理、合併症の予防 —

効果判定と合併症予防の観察・ケアのポイントを明確にします。

村田 宏美（東京女子医科大学病院）

6 VA-ECMO（PCPS）の管理と看護

— 適応・原理、安全管理、合併症の予防 —

適応としくみを理解し、抗凝固と安全管理の要点を押さえます。

島内 淳二（日本医科大学付属病院）

実施概要

配信形式 : オンデマンド
対象 : クリティカルケア領域／重症患者を看護する一般病棟の看護師
申し込み期間 : 2026年8月5日～11月3日
申し込み方法 : 学会HP、QRコード

